

USER MANUAL

Spitfire Solo Strings

目次

はじめに	1
製品仕様	1
ダウンロードとインストール	4
THE SPITFIRE AUDIO APP	4
SPITFIRE APPの設定	6
KONTAKT (PLAYER) での登録	7
フォルダ構造	8
インストールメントのロード	9
基本操作	10
インターフェース	11
ビューの切り替え	11
オーバービュー・パネル	12
アーティキュレーション	14
ロング・アーティキュレーション	14
ショート・アーティキュレーション	16
トリル、トレモロ	18
レガート	19
Performance Legato (パフォーマンス・レガート)	20
エキスパート・ビュー	23
アーティキュレーションを切り替える他の方法	26
オスティナトゥム	31
付録	34
推奨環境	34
KONTAKTとKONTAKT PLAYER	35
アーティキュレーション・リスト	36
マイク、ミックスの略記	39
スタンダード・アレイ	39
UACC	40
UACCキースイッチ	42
FAQとトラブルシューティング	43

はじめに

時には、オーケストラの迫力に打ち勝つために、近距離での繊細な独奏が必要になることがあります。Spitfire Solo Stringsをお試してください。ロンドンの一流の演奏家による、交響楽団や室内楽の新たな伴奏です。

本製品は際立ち重視でデザインされていますが、他の音源とも調和するように設計されています。この新しいライブラリは、弊社のオーケストラ音源シリーズと完璧に融和でき、同じロケーション、秀逸なシグナル・チェーン、マイク・ポジション、アーティキュレーションの豊富さを活用しています。これらは、弊社の高品質なオーケストラ音源パッケージのDNAを構成するものです。Air Lyndhurst Hallで録音された、アコースティックな贅沢さを備えたソロ演奏音源が、リッチなサウンドの2インチテープに収録されています。

製品仕様

- 40,950 サンプル
 - 66.2 GB 無圧縮WAV
 - 42.8 GB ディスク容量
 - 85.6 GB インストール時に必要なディスク容量
 - NKS対応、NI製ハードウェア互換
 - 無料のKontakt Player付属
 - インライン・ヘルプを備えた直感的なGUI
 - マイク・ポジション (C, T, A)
- 詳細なサンプリング
 - 豊富なインストゥルメント数
 - 豊富なアーティキュレーション数
 - 豊富なダイナミクス数
 - 豊富なラウンドロビン数
 - リリース・トリガー
 - ツール・レガート

⚠ 最新の対応状況についてはWeb上の製品ページをご確認ください。

概要

6年前、私たちはSolo Stringsをリリースしました。当時の初期ライブラリのひとつです。それ以来、2,500時間以上のサンプリング経験を積み重ねてきた私たちは、これらの重要な楽器を再び取り上げる時が来たと感じました。このライブラリは、大規模なストリングスの編曲に個性と明確さを加えるだけでなく、映画、ゲーム、ポップ・ミュージックにおける感動的なソロを加えられます。例えば、John Williamsの『Schindler's List』のソロ・バイオリン、Arvo Pärtの『Fratres』やJohn Coriglianoの『Red Violin』、あるいは『Game of Thrones』のテーマを支えるチェロのように。

奏者

- Jack Libeck (Violin - Virtuoso)
- Clio Gould (Violin - 1st Desk)
- Thomas Gould (Violin - Progressive)
- Max Baillie (Viola)
- Richard Harwood (Cello)
- Leon Bosch (Double Bass)

ソリストは並外れた演奏技術を持ち、彼らを録音することは特有の課題を伴いました。私たちは、期待を超え、各楽器があなたの音楽の感情的な温度に応じるよう、柔軟で幅広いマイク・ポジションとアーティキュレーションを提供し、SymphonicやChamberコレクションと完璧に融合するようにしました。

新しいソロ・バイオリンは、Virtuoso, 1st Desk, Progressiveといった3つのモードで演奏でき、それぞれ異なる3人の奏者によって演奏されています。それぞれ独自のアーティキュレーションのほか、ホールのさまざまな録音場所や演奏スタイルが含まれています。

Virtuosoは常設の奏者によるもので、ソナタの音色や、オーケストラの前面で「協奏曲」スタイルで演奏するソリストの音色を捉えています。1st Deskは、第1バイオリンのフロント・デスクで録音されており、弦楽器のラインに個性と明瞭さを加えるのに最適な場所で、セクション全体と調和するようにも録音されています。

1st Deskの演奏者は、オーケストラの前列に立ち、オーケストラをリードするスタイルで演奏しています。一方、Progressiveの演奏者は指揮者から離れた位置で録音されており、大規模なストリングス・セクションに溶け込みやすく、より現代的なスタイルでのソロ・パッセージにも適しています。これにより、「Mandolin pizzicato」や「Tremolo whispers」といった拡張テクニックを用いた、現代的で映画的なサウンドへの扉が開かれます。

これらの3つのバイオリンに加え、3人の優れた弦楽器奏者（ビオラ、チェロ、ダブルベース）が揃い、それぞれに詳細なサンプリングが施されています。たった1本のチェロの旋律から、複数パートを追加して大規模なセクションを補完するまで、柔軟なツールセットを提供し、個性と表現力を加えられるようになります。

多くの弊社製ライブラリと同様に、私たちは再びAIR Studiosの象徴的なThe Hallで本製品を録音しました。

『Dunkirk』『Beauty and the Beast』『Wonder Woman』『Paddington 2』、そして『Harry Potter and the Philosopher's Stone』『The Dark Knight』『Gladiator』などのクラシック作品が録音された場所です。Spitfire Solo Stringsは、受賞歴のあるエンジニアによって、世界的な機材を用いて各ソリストの演奏を録音しています。リボン・マイクや真空管マイクから、Neve Montserratプリアンプ、世界最大の88R Neveコンソールを通して、最高品質の2インチテープに記録し、最高クラスのPrism ADコンバーターを用いて96kでデジタル変換されています。このホールが何十年もハリウッドの監督たちに選ばれてきた理由がここに 있습니다。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。

Sign In

E-mail

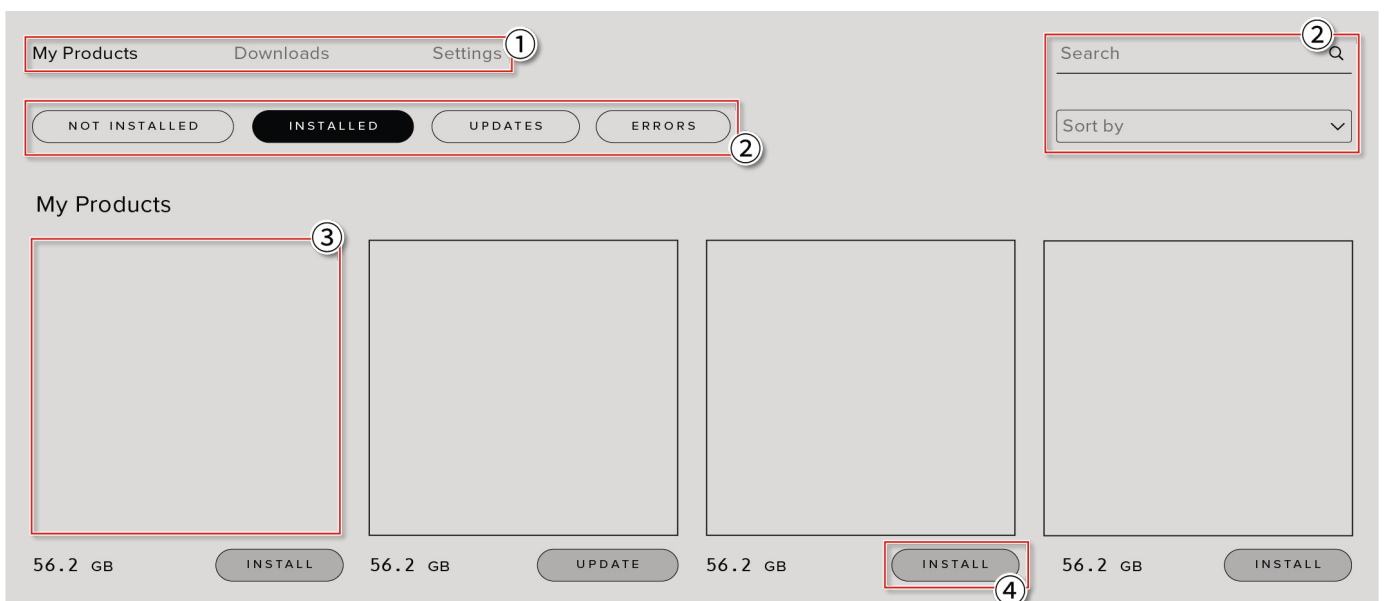
Password

[FORGOT PASSWORD](#)

[REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#)

[LOGIN](#)



① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

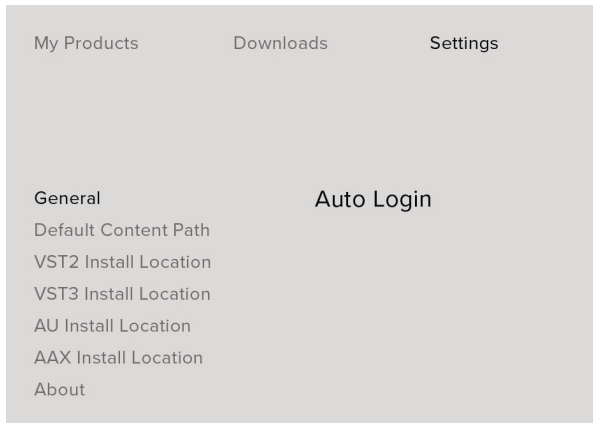
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

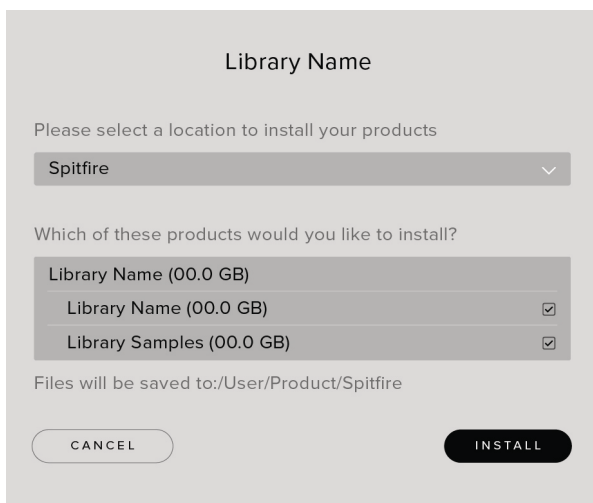
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



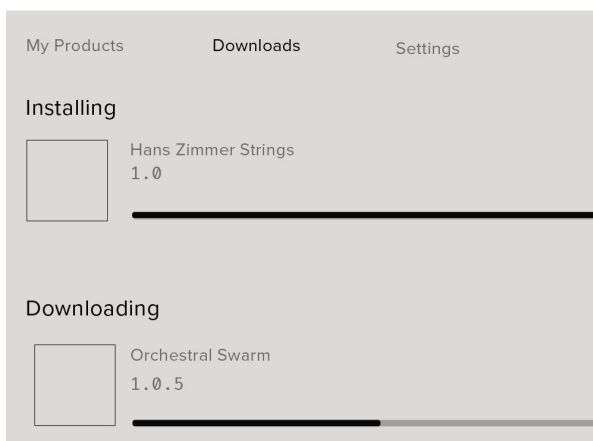
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ) の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。

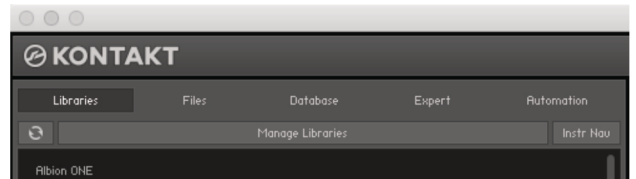


Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

KONTAKT (PLAYER) での登録

Native Instrumentsの無償のKontakt Playerは、[こちら](#)から入手できます。

1. Kontakt Playerをインストール。
2. Kontakt Playerを開き、PreferencesまたはOptions内、Librariesタブ右下に表示される[Launch Native Access]をクリック
3. Native Accessウィンドウ左上の[Add Serial]をクリック。
4. Kontakt Playerのダウンロード時に受け取ったメールに記された、25桁のシリアル番号を入力。
5. ライブラリの所在を尋ねられますので、nicntファイルの置かれたフォルダを指定。
6. 完了。ライブラリがサイド・パネルやブラウザに表示されない場合、巻末のFAQをご確認ください。



初めてKontaktを使用される場合は、Kontaktのユーザー・マニュアルやNative Instrumentsのサイト等で、パッチ (インストゥルメント) のロード、マルチのマネージメント、出力、MIDIルーティングの基本をよく理解することをお勧めします。

すでにKontaktをお使いの方は、Native Accessから最新バージョンをダウンロードしてください。Kontaktのライブラリは頻繁に更新されており、以前のバージョンでは動作しないことがよくあります。

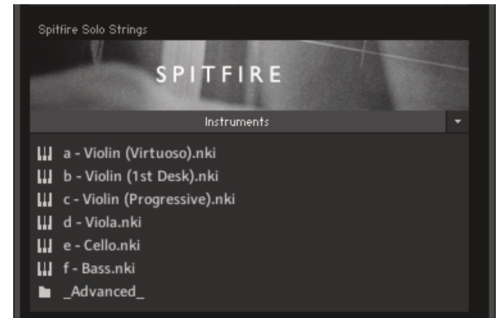
NKS - NIハードウェアとの使用

NKSとNative Instrumentsのハードウェア・コントローラやキーボードとの統合についての詳細は、該当のマニュアル等をご確認ください。

フォルダ構造

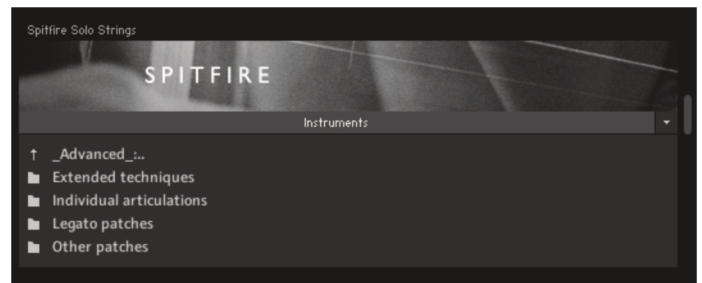
[Instruments]バーをクリックすると、各楽器の基本スタートアップ・パレットが表示されます。これらは、厳選された主要アーティキュレーションを含む主な基本パッチです。

Advancedフォルダをクリックすると、カテゴリーごとに分類されていることがわかります。1つ上のフォルダに戻るには、Advancedフォルダ左側の上矢印↑をクリックしてください。



Extended Techniques

各セクションのコアおよび装飾テクニックを含み、ベーシックなスタートアップ・パッチからもう1段階詳細な情報を閲覧できます。



Individual Articulations

個々のアーティキュレーションが個別のパッチに含まれています。

Legato Techniques

これらのモノフォニック・パッチは、音を「つなげて」演奏することを前提にしています。特に、トップラインのソロ演奏で人気があります。

Other Patches

以下の3つのアーティキュレーション・タイプを含みます。

Economic

RAMを圧迫しないよう厳選されたアーティキュレーションの小規模なセレクション。

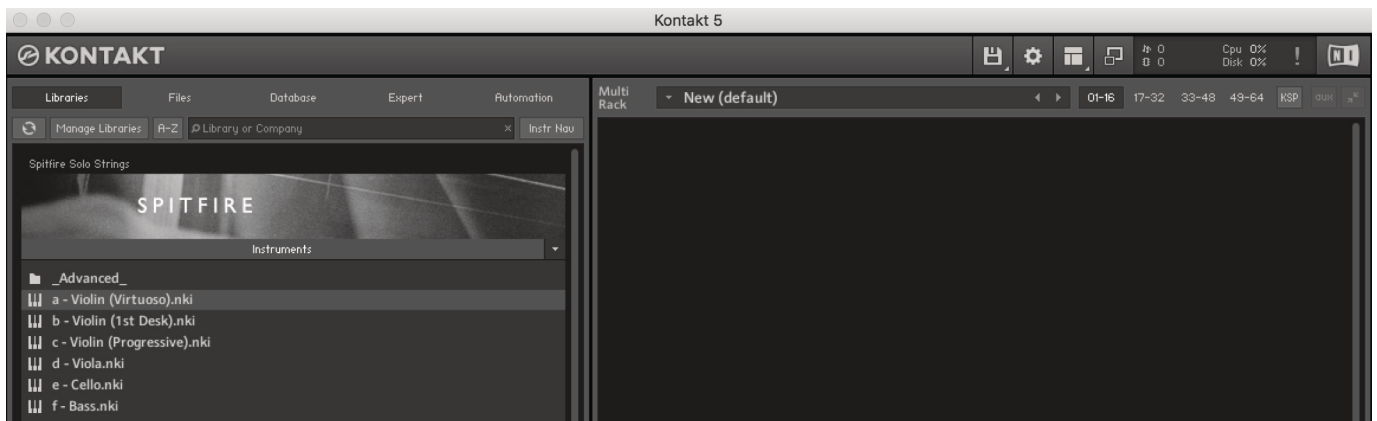
Light

CPU負荷を軽減するよう簡素化されたアーティキュレーション。

Time Machine

これらのパッチは、ショート・アーティキュレーションをすべてRAMに完全にロードしており、MIDI CCで短いノートの長さを変化させられます。

インストゥルメントのロード



nkiファイル (Kontaktインストゥルメントを表す) をダブルクリック、またはサイド・パネルからパッチをドラッグしてロードします。

MIDIキーボード等の送信MIDIチャンネルと、 Kontaktインストゥルメントのチャンネルが同じであることを確認してください。

基本操作

弊社製のインストゥルメントを初めてお使いになる方でも、幾つかの操作原則さえ理解いただければ、すぐに使えるようになります。



- (1) アーティキュレーションを切り替えるには、インターフェース下部に並んだ●スイッチを使います。MIDIキーボードの一番下にあるキースイッチでも切り替えられます。
- (2) 長いノートを鳴らす場合には、モジュレーション・ホイール (CC#1; 右図) を活用してください。



わからないことがあれば、その操作場所の近くにある小さな情報ボタン①をクリックすると、各種の情報 (英語) が得られます。

インターフェース

ビューの切り替え



最初にロードすると、このGUIが表示されます。これは3つのページのうちの1つで、パネル・スイッチャーを使って切り替えられます。

すべてのGUIコントロールには固有のコントローラ番号を割り当てられます。右クリックまたはCtrl+クリックを通じ、割り当てや解除、またMIDI CCの割り当て状態を確認できます。

Kontaktの[Automation]ペインでコントローラのパラメーターを変更できます。例えば、モジュレーション・ホイールを動かす際にその変化幅を0~127から20~100に制限できます。また、変化方向を反転させるには0~127を127~0に変更します。

ボタンで、ビューまたはページを切り替えます。

- ① オーバービュー (上図)
- ② エキスパート・ビュー
- ③ オスティナトゥム



オーバービュー・パネル



① マイク・ミックス

オーケストラは、複数のマイク・パースペクティブで録音されました。このスライダーを上下に動かすと、バンドから感じられる距離を変えることができます。

⚠ サンプルのロード／アンロードに作用するため、操作にタイムラグが発生する場合があります。

② コントローラ

Dynamics	恐らく最も重要なコントローラです。録音された各種ダイナミック・レイヤー間をクロスフェード。
Vibrato	ビブラートなし (Senza) からビブラート多め (Molto) にクロスフェード。
Release	リリース・トリガーの量を調整。
Tightness	サンプル波形の出だしをカットしてレスポンスを速くすることで、タイトなパッセージの演奏時にキレのあるサウンドを得ます。 リアリズムとタイトさを両立するためには適度なタイトネスを設定した上で、DAW上のトラックに対してマイナス値のディレイを設定します。お使いのDAWのマニュアルも参照してください。
Expression	表面上は楽器のトリム (CC#11) ですが、楽器の音量 (CC#7) 内における音量を調整します。Dynamicsと併用すると効果的。

③ サイド・バー

使用中のアーティキュレーションを表示します。

④ アーティキュレーション・スイッチャー

アイコンはキー・アーティキュレーションを表し、演奏中のアーティキュレーションを示します。

これらのアーティキュレーションはディープ・サンプリングされており、演奏の途切れ、遅れ等が発生する場合は、すべてのアーティキュレーションが完全にロードされていることを確認してください。

ロード・ステータス

Kontaktでのインストゥルメントのロード状態を確認します。左側のバーが赤く点灯しているとき、まだロードは開始されておらず、中央のバーが黄色く点灯しているときは、ロードの最中です。



アーティキュレーション

スイッチャーでアイコンをクリックすると、さまざまなアーティキュレーションが選択できます。収録されているアーティキュレーションの詳細については、後述します。

⚠ アイコンをShift+クリックして複数のアーティキュレーションを選択して演奏できます。

アーティキュレーション

アーティキュレーションとは、ミュージシャンが使用するさまざまな演奏テクニック、または楽譜に書き込まれた指示を意味します。以下、本製品に含まれるアーティキュレーションの簡単な説明です。

⚠ すべての楽器にすべてのアーティキュレーションが含まれているわけではありません。

ロング・アーティキュレーション

LONG

ありふれたロング・ノートで、標準的な持続音です。これは基本的な演奏スタイルで、時にはmolto vibrato (強めのビブラート)、時にはsenza vib (ノン・ビブラートなし)で奏でます。dolce (甘く)が表示されることもありますが、これは味わい深いビブラートの量を意味します。モジュレーション・ホイールまたはCC#1に設定したスライダーを使って、ソフト(pp)な音からラウド(ff)な音までスムーズにサウンドのdynamicをクロスフェードできます。

CC#21に設定したスライダーでビブラートの量をノン・ビブラートなしから最大ビブラートまでスムーズにクロスフェードできます。

CON SORD

'con sordino'の略で、「ミュート付き」の意味。小さなゴム製のミュートが駒に取り付けられ、弦の減衰効果によって美しい音が生まれます。オープンの音より柔らかいですが、ダイナミック・レンジは非常に広い。

HARMONICS

開放弦での自然ハーモニクス以外に、押弦位置より完全4度上の音程を軽く押さえることで、2オクターブ上の人工ハーモニクスを奏でます。開放弦の自然倍音列と区別して「人工」と称されます。ショートとロングのテクニックがあります。この「ナチュラル」ハーモニクスは、弓で弦を軽く上下に動かしながら演奏すると聞こえます。

FLAUTANDO

ソフトな「フルートのような」音。多くの場合、弓は指板の近く、または指板上に置かれ、通常の弓弾きとは全く異なる印象を与えます。「ハーモニクス風」と評することもあります。より「ガラス的」で繊細な、ノン・ビブラートのサウンドへと導く際に用いられます。

LONG PROGRESSIVE VIB

ロングに似ていますが、演奏者が弓を動かし続けると、ビブラートが混ざり込んできます。

SUL PONT

‘sul ponticello’の略で、「駒の上」の意味。駒のすぐ近くで弓を弾くため、甲高いエッジの効いた音が出ます。

LONG COL TRATTO

文字通り「弓で引き」ます。この演奏スタイルでは、弓を裏返しにして、弓の木の部分で弦を弾きます。メインの弓は高級品である場合もあるため、通常、奏者は廉価な練習用の弓を持参して使用します！

LONG SUPER SUL TASTO

指板上で弓を弾き、より細く繊細な音色を出します。「フルートのような」または「ハーブのような」音色を要求されないため、柔らかく繊細でありながら「ノーマル」な音色を奏でられます。

ショート・アーティキュレーション

STACCATO

弓が弦に当たって跳ね返るような、美しい「タイトな」音を目指しています。これにより、短い STACCATISSIMO としてだけでなく、速く短い音の連続やオスティナートにも使用できるサウンドが生まれます。

SPICCATO

熱い議論を生むことがあります。弊社では弓が弦の上でバウンドするような、非常にタイトな響きを使用しており、これによって短い Staccatissimo (スタッカーティシモ) としても、連続した速い短音の一部としても使える音が生まれます。

SHORT CON SORD

「ミュートを付けて」演奏します。小さなゴム製のミュートがブリッジに取り付けられ、弦の減衰効果によって美しい音が生まれます。オープンの音より柔らかいですが、ダイナミック・レンジは非常に広い。

COL LEGNO

弓をひっくり返し、スティック (棹) 部分で弦を叩いて奏でます。奏者がメインで使用する弓は数万円するため、演奏時には練習用の弓か、あまり高くない弓を用いるのが一般的です。

PIZZICATO

指で弦をはじきます。

このアーティキュレーションのベロシティ・レイヤーが120を超えると、アーティキュレーションは自動的に PIZZICATO BARTOK に切り替わります。

PIZZICATO BARTOK

弦が指板に戻ってくるほど強く弾くことで、col legno battutoのような特徴的なパーカッシブな音が出ます。奏者の手にマメを作らせたくなければ、ご利用は控えめに。

HARMONICS

ロング・アーティキュレーションの項で紹介した人工ハーモニクスの短音バージョンです。

BRUSHED SHORT CON SORD

SHORT CON SORDに似ていますが、より穏やかな弓使い。バロック音楽に適しています。

SHORT NOISE STACCATISSIMO

通常のスタッカートよりも攻撃的で、弓が弦をはじくように奏できます。

SPICC CON SORD

SPICCATOに似ていますが、ゴム製のミュートをブリッジに装着して演奏します

MANDOLIN PIZZICATO

通常のピチカートと似ていますが、演奏者はマンドリンを持つように楽器を持ち、弦を擦るようにはじくことで、異なったテクスチャを生み出します。

PIZZICATO UNDAMPED

弦をダンピングせずにすぐに弾く奏法です。このアーティキュレーションはベースのみに適用されます。

COL LEGNO PENCIL

COL LEGNOに似ていますが、鉛筆を使って弦を叩きます。弓の背では弾きません。

SHORT PAGANINI

弓を使わず、弦をはじくこともせずに演奏します。ギターのロールオフに似ています。

SHORT SUPER SUL TASTO

指板上で弓を弾き、より細く繊細な音色を出します。「フルートのような」または「ハープのような」音色を要求されないため、柔らかく繊細でありながら「ノーマル」な音色を奏でられます。

トリル、トレモロ

TRILL Minor 2nd, Major 2nd

トリルとは、奏者が左手で2つの音程を素早く交互に鳴らすことです。演奏のアクセントとして使用したり、ソフトに演奏して、美しい"雲"のような質感を作り出すこともできます。トリルのアーティキュレーションは、sync to tempoをクリックすることでDAWのBPMにマッピングされます。

LONG TREMOLO

トレモロとは、左手の単音で保ちつつ弓を素早く動かすものです。ソフトに弾くときらめくような効果があり、ラウドに弾くと非常にアグレッシブになります。

TREMOLO WHISPERS

繊細に演奏しますが、左手で単音を維持しながら素早く弓を動かすことで、"空洞"のような美しいサウンドを作り出します。

レガート

サンプル楽器でいうレガートとは、ある音から次の音に移る楽器の音をとらえるテクニックのことです。このディテールをとらえることで、リアルさが増しますが、モノフォニック（単音）で演奏する必要があります。このディテールをとらえることで、リアルさが増しますが、モノフォニック（単音）で演奏する必要があります。

重なる音をトリガーするには、前の音を鳴らしながら次の音を鳴らす必要があります。このようにノートを重ね合わせさえすれば、エンジンは、あなたが‘legato transition’をトリガーしようとしていると認識します。

表現力豊かに音楽的に演奏できるように、さまざまな種類のトランジション（遷移、移行）を録音しました。

FINGERED LEGATO

最も基本的な奏法です。左手の指を加えたり、外したりするだけで、ボウ・チェンジはありません。

BOWED LEGATO

左手で新たな音符を演奏したのに伴って弓の方向をチェンジします。ややハッキリとした強めのボウ・チェンジが生じます。

PORTAMENTO LEGATO

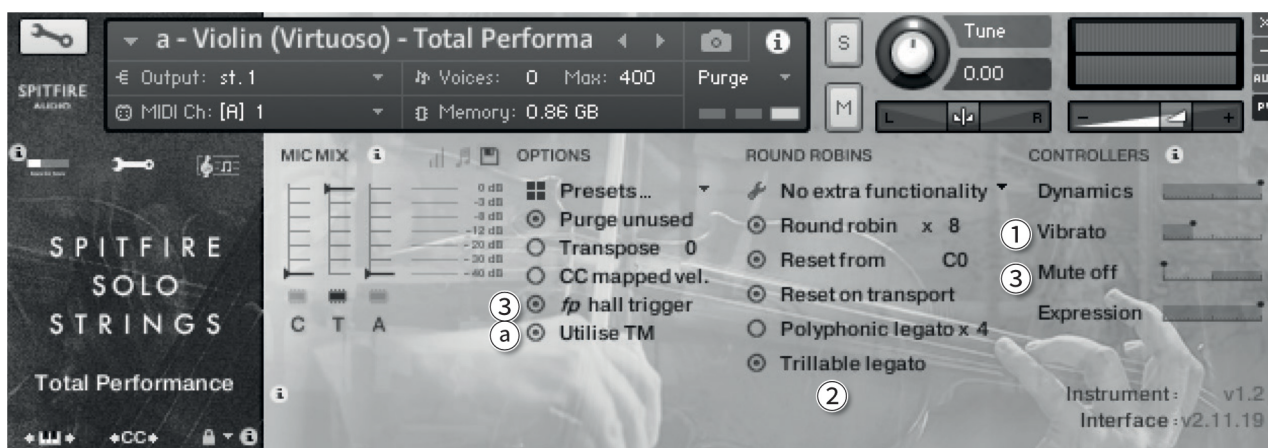
次の音符に滑らかにトランジションします。文字通り指を指板上で滑らせることで実現されます。大きな音程トランジション時には、異弦に渡る必要があります。

Performance Legato (パフォーマンス・レガート)

The Total Performanceパッチは、多数のアーティキュレーションを直感的にコントロールし、それらを組み合わせることで、キースイッチ不要で音楽的なフレージングができます。演奏速度やタッチに反応するため、現実的で高速かつ自然な演奏を実現し、パフォーマンスの「繋ぎ合わせ」抜きでキーボードで演奏できます。

Virtuoso Violin Total Performanceパッチには、5種類の異なるタイプのトゥルー・レガート・トランジション (Portamento, Fingered, Bowed, Runs, and Arpeggios) が搭載されています。このパッチには、Spiccato, Staccato, Tremolo, Pizzicatoなどのアーティキュレーションも含まれます。

また、3種類の異なるビブラート・スタイル (Molto Vibrato, Progressive, Senza Vibrato) も利用可能です。



① ビブラート・コントロール

ビブラートはデフォルトでCC#21に割り当てられており、各サンプルのビブラート・レイヤーを切り替えます。

CC#21値	ビブラート・タイプ
1~5	Tremolo (トレモロ)
6~32	Non Vibrato (ノン・ビブラート)
33~64	Progressive Vibrato (プログレッシブ・ビブラート)
65~127	Molto Vibrato (モルト・ビブラート)

Tremolo (トレモロ)

演奏者が特定の音を素早く繰り返すテクニックです。

Non Vibrato (ノン・ビブラート)

ビブラートなしで演奏します。

Progressive Vibrato (プログレッシブ・ビブラート)

ビブラートなしから始まり、徐々に標準的なビブラートへと自然に移行します。

低いベロシティ (1~9) のときビブラートへの移行は遅くなり、高いベロシティ (10~127) ではビブラートの開始が早くなります。

Molto Vibrato (モルト・ビブラート)

強烈なビブラートがかかるが、値が75を超えると誇張されます。

Utilise TMの値^②がアクティブな場合、ビブラートの速度が75%以上に増加されます。CPUが処理しきれない場合は、この設定をオフにしてください。

💡 この設定ではKontaktのTime Machineアルゴリズムが使用されるため、CPUに負荷がかかる場合があります。パフォーマンスに問題がある場合は、この機能を無効にすることをお勧めします。

② レガート・トランジション

演奏されたベロシティに応じてトランジション・サンプルがトリガーされます。

ベロシティ	トランジション
1~19	Portamento (ポルタメント)
20~84	Fingered (フィンガード; スラー)
85~127	Bowed Legato (ボウド・レガート)

Run / Arpeggio (ラン / アルペジオ)

ベロシティ1~84でスムーズな演奏をし、85~127で強いアタックでアルペジオやランを演奏すると、より速いトランジションがトリガーされます。

Staccato / Spiccato (スタッカート / スピッカート)

素早いショート・ノートを演奏する際には、CC#21で設定された値に基づいて、スピッカートまたはスタッカートをトリガーできます。

CC#21値	ベロシティ	ショート・アーティキュレーション
	1~9	ナチュラル・アタック
1~5	10~127	Staccato (スタッカート)、4×ラウンドロビン、pp, mf, ff & 'noise'
6~127		Spiccato (スピッカート)、8×ラウンドロビン、pp, mf, ff & 'noise'

Trill (トリル)

Trillable Legatoの設定がOnの場合、2つの音を素早く交互に演奏すると、録音されたトリルが起動します。これをトリガーするには、音程が長2度以内で、速度が200ミリ秒以下である必要があります。

③ その他のコントロール

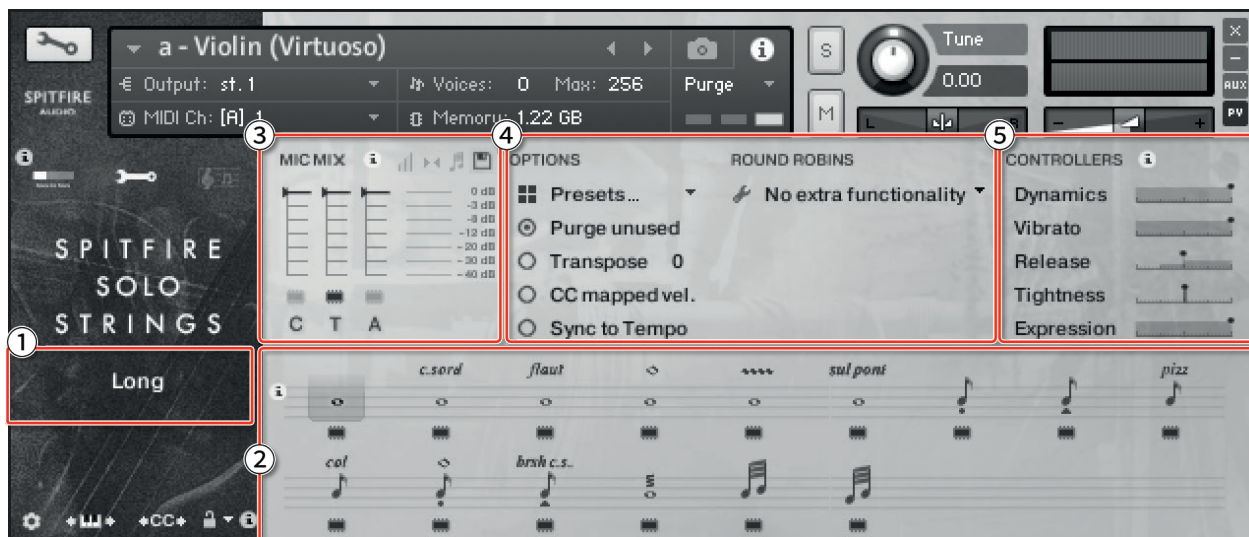
fp hall trigger

ダイナミクスを素早くフェードアウトする際に、ルーム・アンビエンスを追加するかどうかを切り替えます。

Mute

はデフォルトでCC#16に割り当てられており、楽器に物理的なミュートを装着した状態をシミュレートしたCon Soldino (弱音器つき) の切り替えスイッチとして機能します。これにより楽器が減衰し、非常に温かみのある豊かなサウンドが得られます。

エキスパート・ビュー



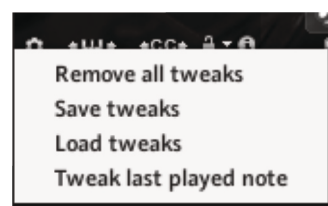
① サイド・バー

オーバービューでは使用中のアーティキュレーションを表示するのみですが、このビューでは追加機能にアクセスできます。



① a) ギア・アイコン

プリセットを微調整するための素晴らしいツールです。



How should we tweak?	ここには、直前に演奏したサンプルの情報が表示されます。
Skip this rr	常に次のラウンドロビンにジャンプ。
Adjust tune/vol	直近で鳴らしたサンプルのチューニングと音量を調整。
Adjust release	リリース・トリガーのレベルを変更。
Sample start	演奏がゆるく感じる場合は右に、きつく感じる場合は左に調整することで、演奏のタイトさを調整。
Remove all note tweaks	このメニューで行ったカスタムの変更をすべて削除。

② キーボード・シマイア

キースイッチのバンクを左右に移動します。アイコンをクリックしてカーソルを左右にドラッグするだけで、ピンク色のキースイッチのバンクが移動します。停止すると、新しいキースイッチが表示されます。

③ キースイッチCCセレクト

CCコントローラをアーティキュレーション／キースイッチとして使用します。CCを右クリックまたはCtrl+クリックして、アーティキュレーションを変更するコントローラを割り当てられます。

④ アーティキュレーション・ロック

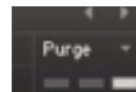
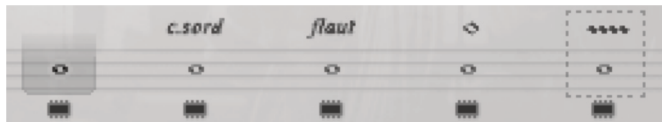
アーティキュレーションを選択し、テンプレートを様々な方法で使用することができます。例えば、インストゥルメントの各インスタンスに1つのアーティキュレーションをロードすることを好む人も多いでしょう。そのため、一度アーティキュレーションを選択したら、マシンルームのスレーブから音が消えてしまわないように、アーティキュレーションの切り替えをロックしておくことをお勧めします！

Unlocked Artic	標準的な設定で、フロント・パネルまたはキースイッチでアーティキュレーションを選択。
Locked Artic	アーティキュレーションをロックし、フロント・パネルやキースイッチで変更できないようにします。
Locked Keyswitches	キースイッチでアーティキュレーションをロックしますが、フロント・パネルで自由に切り替えることができます。
Locked to UACC	UACCとは弊社開発による規格で、詳細を後述します。デフォルト・コントローラはCC32です。
Locked to UACC KS	UACCの機能にキースイッチの柔軟性を加えたものです。アクティブにすると、1つのキースイッチが使用可能になります。このキーを様々なベロシティ (UACC標準に対応) で押すことでアーティキュレーションが変化します。標準のUACCとは異なり、アーティキュレーションを重ねることができます。
Shared Keyswitches	大規模なライブラリでは、この設定により、複数のアーティキュレーションのパレットにキースイッチを分散させることができます。

② アーティキュレーション・スイッチャー

オーバービューと同様に機能しますが、各アーティキュレーションの下に■が追加されており、アーティキュレーションのロード／アンロードを制御で

きます。ロードにはタイムラグが発生しますので、演奏前にすべてのアーティキュレーションが完全にロードされていることを確認してください。

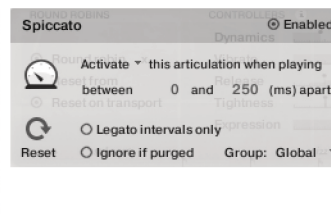
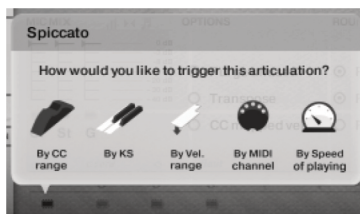


アーティキュレーションのレイヤー

アーティキュレーション・セット内でサウンドをレイヤーするには、次のアーティキュレーションを Shift+クリックするだけです。レイヤー・アーティキュレーション・オプションが多数表示され、混乱することがありますが、フロント・パネルには、最近レイヤーされたアーティキュレーションのみが表示 (編集) されます。

トリガー

アーティキュレーション・アイコンを Ctrl/ command+クリックすると、トリガー・オプションが表示されます。



By CC Range

MIDI CCのメッセージ1つでアーティキュレーションを切り替え。

各アーティキュレーションを特定の範囲に設定し、MIDIコントローラのフェーダーや、CC値が割り当てられたボタンを使って、希望のアーティキュレーションを選択します。デフォルトのCCは、UACCプロトコルのCC#32です。

By KS

デフォルト設定。発音中には切り替わらず、次のノートオン・イベントから切り替わります。つまり、長いノートを演奏中にキースイッチを演奏して、次のノートからスタッカートに切り替えて演奏することができます。

By Velocity Range

キーボードを強く叩くとスタッカート・パッチになるような、インテリジェントなスタッカート・パッチをデザインする際に最適。

By MIDI Channel

シングル・インスタンスをマルチティンバー・インストゥルメントに変え、インストゥルメントは入力されたMIDIチャンネルに基づいてアーティキュレーションを変化させます。KONTAKTヘッダーでインストゥルメントのMIDIチャンネルをOmniにします。これによりMIDIチャンネルごとにインストゥルメントが反応するようになります。

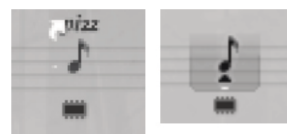
例えば Staccatoをch 1に、Longをch 2に、Legatoをch 3に設定できます。


By Speed Of Playing

演奏の速度に応じてアーティキュレーションを切り替えます。選択すると、トリガーの時間範囲をミリ秒単位で指定するオプションが表示されます。例えば、ノートオフと次のノートオンの時間差が0~250msのときにFast Legatoが作動するように指定できます。

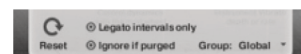
ユーザーの演奏スタイルやニーズに合わせて設定可能で、上部のEnabledのチェックを外すことで解除できます (アーティキュレーション・スイッチャー以外の画面では、アーティキュレーション・アイコンをAlt/option+クリックするだけでも解除できます)。

- 💡 アーティキュレーションにトリガーが割り当てられている場合、その上に小さなショートカット・アイコンが表示され、カスタマイズされていることを知らせます。このショートカットが表示されているアーティキュレーションをAlt/option+クリックすると、トリガーのOn/Offが切り替わります。レガート速度/ペロシティの切り替えを望まない場合には、素早くオフにできる便利な方法です。

トリガー・パネル

Reset  は、このアーティキュレーションのトリガーをクリアします。

Groupは、トリガーをグループ化します。設定すると、同じグループ内のアーティキュレーションが現在アクティブな場合にのみトリガーが発生します。



アーティキュレーションを切り替える他の方法

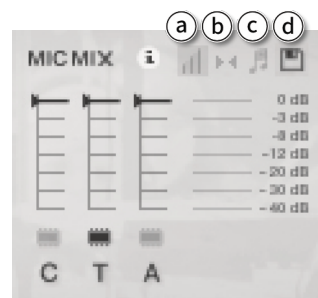
手動、キースイッチ、または上記の高度な方法でアーティキュレーションを切り替えるだけでなく、後述のUACC (universal articulation controller channel) と呼ばれる新しいシステムもお試しく下さい。CC#32と付録の表を使ってみてください。

- 💡 アーティキュレーションを切り替える方法はたくさんありますが、多くのプロは、DAWのトラックごとに異なるアーティキュレーションを1つのインスタンスに設定することを好みます。

③ MIC MIX (マイク・ミックス)

マイクのブレンドを調整できます。

フェーダー下部の■で各マイク信号をロード／アンロードし、フェーダーでバランスを調整します。フェーダーを完全に下げると信号ごとアンロードされ、そこからフェーダーを上げるとリロードされます。フェーダーを右クリックして MIDI CC をアサインして演奏しながらサウンドの空間的な性質を変化させることもできます。マイクの文字をクリックして、Kontakt の出力先を変更できます。



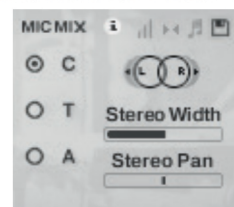
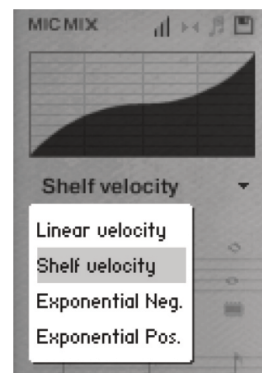
右上のアイコンを通じて、さらに詳細な設定が行えます。

① ベロシティ・レスポンス

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。

② パン・マイク・コラプサー

ステレオ・イメージの扱い方を調整できます。ただし本ソフトウェアの収録時には、ミュージシャンはすべて一般的なスコアリング・セッションでのシート位置で演奏しているため、そのままだでも素晴らしいサウンドの広がりやディテールが得られます。



Stereo Width ステレオ・イメージの広がりをコントロール。右に振り切ると、2つのパンポットを最大限にパンニングした状態と同じ。左端まで移動させると、両方のポットが中央に位置する状態と同じ。

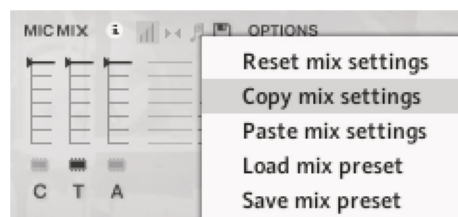
Stereo Pan ステレオ・イメージの中心がパン・フィールドのどこに置かれるかを調整。

③ アーティキュレーションとMIC MIXのリンク

マイク・ミックスや調整内容をアーティキュレーションに対してロックします。このライブラリではアーティキュレーションは使用されていないため、機能しません。

④ ミキサー・プリセット

パッチ間でミキサー設定を転送したり、プリセットをディスクに保存したり読み込んだりできます。

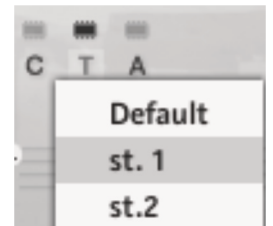


ミキサー・フェーダーのオートメーション

各フェーダーには専用のMIDI CCが割り当てられています。MIDIコントローラやコントロール・サーフェスに合わせて変更するには、コントロールを右クリックまたはCtrl+クリックしてLearnを選択した後に、MIDIコントローラを操作します。

マイク・ミックスのルーティング

各マイク・チャンネルを固有のKontaktチャンネルにルーティングするには、マイクの文字をクリックするだけです。例えば、アンビエント・マイクはサラウンド・チャンネルにルーティングすると快適です。また、最終的なミックス・セッションでエンジニアがバランスを調整することを想定して、個々のマイクをパラアウトする際にも活用できます。



④ 設定

OPTIONS

■ Presets

あらかじめ設定されたアーティキュレーション・セットを素早く簡単にロードできます。

■ Purge unused

メモリ使用量を可能な限り抑えるために、使用していないサンプルをアンロードし続けます。

■ Transpose

Onに設定し、数値を調整してインストゥルメントをトランスポーズできます。インストゥルメントは選択されたピッチにサンプルをオフセットします。

■ CC mapped vel.

ダイナミクス・スライダーでノート・ベロシティをコントロールできます。ユーザーがダイナミクス・スライダーをカスタマイズした場合、そのMIDI CCでベロシティをコントロールすることができます。

ROUND ROBINS & LEGATO**■ No extra functionality**

この隣にあるポップダウン・メニューには、次のような機能があります。

No extra functionality	ラウンドロビンが、意図された通りに使用される標準的なデフォルト。
Neighbouring Zones	隣の音からサンプルを借用し、ピッチに合わせて移調することで、ラウンドロビン数を稼ぎます。"5RR"インストゥルメントでは、キーを押したときに最大15種類の音を効果的に循環させることができます。
2x Round Robin With Skip	ラウンドロビンを2つ重ねて音を厚くします (全体の音量が~6db下がるので、レベルは変わりませんが、太いサウンドになります)。ラウンドロビンの1/2のペアの後に3/4のペアを再生するため、ラウンドロビン数は実質的に半分になります。
Layer 2x Round Robins With No Skip	上記と同様ですが、1/2のペアの後に2/3のペアが続くため、ラウンドロビン数は保持されます。

■ Round robin

使用するラウンドロビン (同じ音を複数回録音し、鳴らすごとに切り替えることで自然な響きを得る手法) の回数を指します。ドラッグでラウンドロビン数を指定。

■ Reset from F0

ラウンドロビン・サンプルをリセットする際に使用するキースイッチを指定します。指定キースイッチから半音上がるごとに、次のラウンドロビン・サンプルを指定し、その上でリセットできます。

■ Reset on transport

上記と同様ですが、プレイを押すたびにリセットされます!天才!

■ Short articulations RT

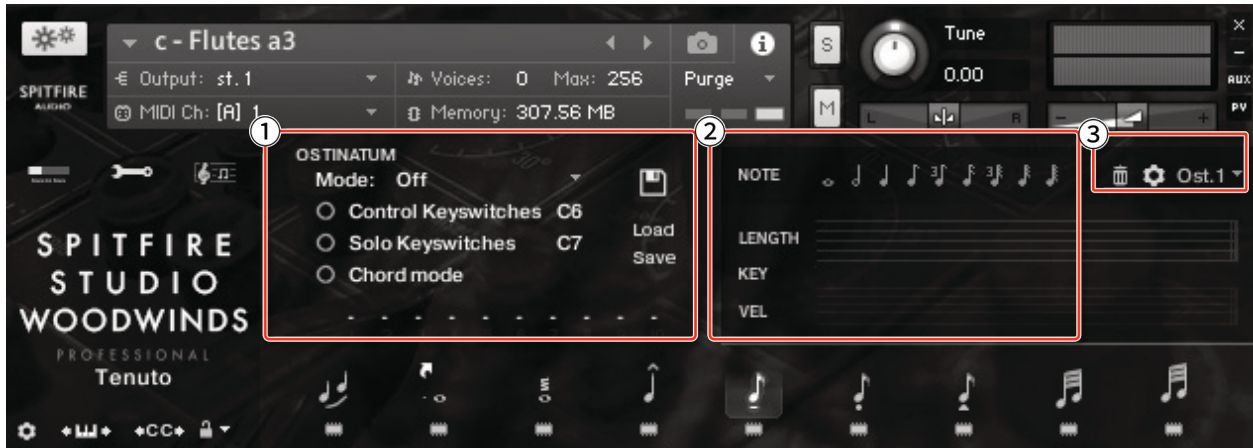
スタッカート/テヌート/マルカート・ノートに、リリース時に再生されるリリース・トリガーを付けるかどうかを切り替えます。

⑤ CONTROLLERS (コントローラ)

MIDIコントローラにこれらのCCをダイヤルすることで、感情豊かに表現することが可能になります。

Dynamics	CC#1。アクティブなダイナミック・レイヤーを表示および制御。モジュレーション・ホイールでもコントロール可能。
Vibrato	CC#21。ビブラートなしからビブラート多めにクロスフェード。
Release	CC#17。最大に設定すると、スローなパッセージで長いアーティキュレーションを使用する際に、トランジションをぼかすことができます。よりフォーカスを絞り、ディテールを際立たせたい場合には、値を小さくします。
Tightness	CC#18。サンプル波形の出だしをカットしてレスポンスを速くすることで、タイトなパッセージの演奏時にキレのあるサウンドを得ます。 リアリズムとタイトさを両立するためには適度なタイトネスを設定した上で、DAW上のトラックに対してマイナス値のディレイを設定します。お使いのDAWのマニュアルも参照してください。
Expression	CC#11。表面上は楽器のトリムですが、楽器の音量 (CC#7) 内における音量を調整します。Dynamicsと併用すると効果的。

オスティナトゥム



① 設定

Mode

あなたの演奏をどのように解釈するかを選択します。オスティナトゥムは最大で10音をシーケンスし、このとき1~10を並べる方法を下記より選択します。


Off	オスティナトゥムは使用できません。
Order Pressed	キーを押した順にノートに番号が付きます。
Ascending	低い音から高い音へ番号を付けます。
Descending	高い音から低い音へ番号を付けます。

また、このときのオプションは以下のとおりです。

Control Keyswitches	オスティナトゥムの状態をコントロールするキーボードのセクションを設定。
Solo Keyswitches	オスティナトゥムの各パターンを単独で演奏するキースイッチ。
Chord Mode	ノートの順序を無視し、すべてをポリフォニックで演奏します。

② リズム・コンピュータ

NOTE

クリックして、好きな長さのノートを入力します。ゴミ箱をクリックして削除するか、右側のドロップ・ダウンからプリセットを選択します。ギア・アイコン  からさらに詳細な設定が可能です。

LENGTH

Noteメニューで選択したシーケンスのノートの長さを表示します。下にドラッグすることで、指定した長さの休符バージョンを作成できます。

KEY

各ノートの下で、このノートがどのキー（トランスポートでリアルタイムに再生されるキー）に接続しているかを選択できます。上下にスクロールして選択します。

LEVEL

バーを上下に調節して、各ノートのベロシティ・レベルを調節します。

Load/Save

以前に作成したフレーズを保存できます。

③ パターン・セレクト

リズム・コンピュータのドロップダウンで最大8種類のパターンを切り替えられます。

デフォルトでは、これらのパターンは互いに重なっていますが、トラック・オプションを使ってソロに設定することもできます。



またはsoloのキースイッチ・オプションを使用できます。このキースイッチでは、9つの新しい（カスタマイズ可能な）キースイッチがキーボードに追加されます。

最初の1つは、すべてのトラックのミュートを解除して、同時に演奏可能にします。次の8つのキースイッチは、各トラックをそれぞれソロにします。

右側の画像は、トラック1にせわしい16分音符、トラック2にレイジーな8分音符をプログラムし、DAWでそれらをキースイッチで切り替える方法を示しています。



付録

推奨環境

最新バージョンのKontaktがインストールされていることを確認してください。

すべてのプログラムには、任意のパッチのCPU要求を抑制できるパラメータ・セットが提供されていますが、今後の快適な動作のためには高速なプロセッサ、十分なメモリ、SSD eSataやUSB3等の高性能な組み合わせをお勧めします。メモリが多いほどドライブ負荷は軽減されますし、完全な専用ドライブがあれば、メモリの読み込み量を減らしてロード時間を短縮できます。CPUの速度が速いほど、複雑なスクリプトを処理する能力も高くなります。

■ PC

Windows 7以降 (最新のサービスパック、32/64ビット)、Intel Core DuoまたはAMD Athlon 64 X2、4GB RAM (最小8GB) を推奨します。

■ MAC

Mac OS X 10.10以降 (最新のアップデート)、Intel Core 2 Duo、4 GB RAM (最小8GB) を推奨します。

■ ドライブ

USB3、Thunderbolt、またはeSata SSD。AV用途のドライブを販売店にお問い合わせください。

HDDの代わりにSSDドライブを使用すると、システムのパワーが大幅に向上します。シーク時間は7~9msではなく通常0.1ms未満で、この速度はパッチの全サンプルをページした状態で実行するのに十分な速さであり、演奏中のロードすら難なく行えます。また、サンプラーのプリロード・バッファを1/10に減らせるため、巨大なオーケストラ・パレットを単独のマシンにロードすることができます。

■ ホスト

Kontaktは、ほとんどの一般的なプラットフォームやDAWで快適に動作します。可能な限り最新版をご利用ください。

メインのDAWが古い、あるいはスペックに制約があり、大きなオーケストラ・パレットにSpitfireを追加する予定がある場合、ホスト・コンピューター（ReWire経由など）またはスレーブ・デバイス（MIDIやMOL経由など）で、DAWから独立してライブラリを実行することを検討できます。そうすることで、ローディング時間が短縮され、DAWがすべてのノートを最大限正確に処理できるようになります。

KONTAKTとKONTAKT PLAYER

Kontakt Playerは、開発者がライセンス料を支払ったライブラリで動作します。つまり、ユーザーはライブラリとこの再生エンジンをまとめて購入したことになります。

Kontakt Playerは、フロント・パネル上のすべてのサウンドと（編集可能な）パラメータにアクセスできます。また、これらのライブラリにはサイド・パネルに表示されるバナーもあります。

より深くエディットするにはフル・バージョンのKontaktが必要です。すでにKontakt Playerをお持ちで、私たちのPlayer対応ライブラリを1つでも購入された方は、Native Instrumentsのウェブサイトからフル・バージョンのKontaktに割引価格でアップグレードすることができます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

なお、すべてのライブラリがKontakt Playerに対応しているわけではなく、HarpやPiano、Harpsichordなどのようにフル・バージョンのKontaktでのみロードが可能な場合もあります。これらの中にはサイド・パネルにバナーが表示されないものもあり、Kontaktの[Files]ブラウザから読み込むか、Quick Loadウィンドウにお気に入りとして追加してロードする必要があります。

アーティキュレーション・リスト

Violin (Virtuoso)

- Violin (Virtuoso) - Long CS
- Violin (Virtuoso) - Long Flautando
- Violin (Virtuoso) - Long Harmonics
- Violin (Virtuoso) - Long Progressive Vib
- Violin (Virtuoso) - Long Sul Pont
- Violin (Virtuoso) - Long Tremolo
- Violin (Virtuoso) - Long
- Violin (Virtuoso) - Short Brushed Baroque CS
- Violin (Virtuoso) - Short Col Legno
- Violin (Virtuoso) - Short Harmonics
- Violin (Virtuoso) - Short Noise Staccatissimo
- Violin (Virtuoso) - Short Pizzicato
- Violin (Virtuoso) - Short Spiccato
- Violin (Virtuoso) - Short Staccato
- Violin (Virtuoso) - Trill (Major 2nd)
- Violin (Virtuoso) - Trill (Minor 2nd)

Violin (1st Desk)

- Violin (1st Desk) - Long CS
- Violin (1st Desk) - Long Flautando
- Violin (1st Desk) - Long Harmonics
- Violin (1st Desk) - Long Progressive Vib
- Violin (1st Desk) - Long Tremolo
- Violin (1st Desk) - Long

- Violin (1st Desk) - Short Bartok Pizz
- Violin (1st Desk) - Short Brushed Baroque CS
- Violin (1st Desk) - Short Col Legno
- Violin (1st Desk) - Short Harmonics
- Violin (1st Desk) - Short Mandolin Pizzicato
- Violin (1st Desk) - Short Pizzicato
- Violin (1st Desk) - Short Spiccato
- Violin (1st Desk) - Short Staccato
- Violin (1st Desk) - Trill (Major 2nd)
- Violin (1st Desk) - Trill (Minor 2nd)

Violin (Progressive)

- Violin (Progressive) - Long Col Legno Tratto
- Violin (Progressive) - Long CS
- Violin (Progressive) - Long Flautando
- Violin (Progressive) - Long Harmonics
- Violin (Progressive) - Long Progressive Vib
- Violin (Progressive) - Long Sul Pont
- Violin (Progressive) - Long Super Sul Tasto
- Violin (Progressive) - Long Tremolo
- Violin (Progressive) - Long
- Violin (Progressive) - Short Bartok Pizzicato
- Violin (Progressive) Short Brushed Baroque CS
- Violin (Progressive) - Short Col Legno Pencil
- Violin (Progressive) - Short Col Legno

- Violin (Progressive) - Short Harmonics
- Violin (Progressive) - Short Mandolin Pizzicato
- Violin (Progressive) - Short Paganini
- Violin (Progressive) - Short Pizzicato
- Violin (Progressive) - Short Spiccato CS
- Violin (Progressive) - Short Spiccato
- Violin (Progressive) - Short Staccato
- Violin (Progressive) - Short Super Sul Tasto
- Violin (Progressive) - Tremolo Harmonics
- Violin (Progressive) - Tremolo Whispers
- Violin (Progressive) - Trill (Major 2nd)
- Violin (Progressive) - Trill (Minor 2nd)

Viola

- Viola - Long CS
- Viola - Long Harmonics
- Viola - Long Progressive Vib
- Viola - Long Sul Pont
- Viola - Long Tremolo
- Viola - Long
- Viola - Short Bartok Pizzicato
- Viola - Short Brushed Baroque CS
- Viola - Short Col Legno
- Viola - Short Harmonics
- Viola - Short Mandolin Pizzicato
- Viola - Short Noise Staccatissimo

- Viola - Short Pizzicato
- Viola - Short Spiccato
- Viola - Short Staccato
- Viola - Trill (Major 2nd)
- Viola - Trill (Minor 2nd)

Cello

- Cello - Long CS
- Cello - Long Flautando
- Cello - Long Harmonics
- Cello - Long Progressive Vib
- Cello - Long Sul Pont
- Cello - Long Tremolo
- Cello - Long
- Cello - Short Bartok Pizzicato
- Cello - Short Brushed Baroque CS
- Cello - Short Col Legno
- Cello - Short Harmonics
- Cello - Short Noise Staccatissimo
- Cello - Short Pizzicato
- Cello - Short Spiccato
- Cello - Short Staccato
- Cello - Trill (Major 2nd)
- Cello - Trill (Minor 2nd)

Basses

- Bass - Long Flautando
- Bass - Long Harmonics
- Bass - Long Progressive Vib
- Bass - Long Sul Pont
- Bass - Long Tremolo
- Bass - Long
- Bass - Short Bartok Pizzicato
- Bass - Short Brushed Baroque CS
- Bass - Short Col Legno
- Bass - Short Harmonics
- Bass - Short Pizzicato Undamped
- Bass - Short Pizzicato
- Bass - Short Spiccato
- Bass - Short Staccato
- Bass - Trill (Major 2nd)
- Bass - Trill (Minor 2nd)

Legato Patches

- Violin (1st Desk) - Legato
- Violin (Vituoso) - Total Performance Legato
- Viola - Legato
- Cello - Legato

Other Patches

- Violin (Virtuoso) - Economic
- Violin (Virtuoso) - Light resources
- Violin (Virtuoso) - Time Machine
- Violin (1st Desk) - Economic
- Violin (1st Desk) - Light resources
- Violin (1st Desk) - Time Machine
- Violin (Progressive) - Economic
- Violin (Progressive) - Extra techniques
- Violin (Progressive) - Light resources
- Violin (Progressive) - Time Machine
- Viola - Economic
- Viola - Light resources
- Viola - Time Machine
- Cello - Economic
- Cello - Light resources
- Cello - Time Machine
- Bass - Economic
- Bass - Light resources
- Bass - Time Machine

マイク、ミックスの略記

スタンダード・アレイ

C: 近接マイク

楽器の近くに最適なフォーカスが得られるように配置された真空管マイクのセレクション。このマイク・コントロールは明瞭で、時には少し"音の丸み"を加え、単独では距離感が近い、またはポップ・ミュージック・スタイルのサウンドを実現する方法となります。

T: ツリー


指揮台の上に3本のマイクを設置するデッキツリーを指します。貴重なビンテージのNeumann M50が3本。これらは、バンドやホールの究極のサウンドを提供するために配置され、各パッチでロードされるデフォルトのマイク・ポジションです。

A: アンビエント

バンドから離れたギャラリー（回廊）の高い位置に設置されたコンデンサー・マイクのセット。このマイク・ポジションは、バンドにステレオの広がりとルーム・サウンドを大量に与えます。他のマイクとミックスするのも良いですが、LsとRsのスピーカー・センドに送ることで、真のサラウンド情報が得られます。

UACC

旧製品『BML Sable』開発に伴い、楽器やライブラリに含まれる増え続けるアーティキュレーションへのアクセス方法を標準化することが困難になりました。キースイッチやCC#32は十分に機能するものの、セクションや楽器間で一貫性がなく、ビオラをバイオリン・セクションに置き換えるような単純なことさえ一苦労でした。

この問題に対処するため、弊社はインストゥルメントとライブラリ間のアーティキュレーション・コントロールを標準化する**UACC**を開発しました。これは、キースイッチのロック・オプション  でOnにし、上記と同じCCを使用します (同様にカスタマイズ可能)。これにより、各アーティキュレーションに対応する特定の値にCC#32を設定することで、アーティキュレーションを変更できます。以下は最新 (v2) の仕様です。

Long (sustain)		Legato	
1	Generic	20	Generic
2	Alternative	21	Alternative
3	Octave	22	Octave
4	Octave muted	23	Octave muted
5	Small (1/2)	24	Small
6	Small muted	25	Small muted
7	Muted	26	Muted
8	Soft (flaut/hollow)	27	Soft
9	Hard (cuivre/overb)	28	Hard
10	Harmonic	29	Hramonic
11	Temolo/flutter	30	Tremolo
12	Tremolo muted	31	Slow (port/gliss)
13	Tremolo soft/low	32	Fast
14	Tremolo hard/high	33	Run
15	Tremolo muted low	34	Detache
16	Vibrato (molto vib)	35	Higher
17	Higher (sultasto/bells up)	36	Lower
18	Lower (sul pont)		
19	Lower muted		

Short		Decorative	
40	Generic	70	Trill (minor2nd)
41	Alternative	71	Trill (major 2nd)
42	Very short (spicc)	72	Trill (minor 3rd)
43	Very short (soft)	73	Trill (major 3rd)
44	Leisurely (stacc)	74	Trill (perfect 4th)
45	Octave	75	Multitongue
46	Octave muted	76	Multitongue muted
47	Muted	80	Synced - 120bpm (trem/trill)
48	Soft (brush/feather)	81	Synced - 150bpm (trem/trill)
49	Hard (dig)	82	Synced - 180bpm (trem/trill)
50	Tenuto	Phrases & Dynamics	
51	Tenuto Soft	90	FX 1
52	Marcato	91	FX 2
53	Marcato Soft	92	FX 3
54	Marcato Hard	93	FX 4
55	Marcato Long	94	FX 5
56	Plucked (pizz)	95	FX 6
57	Plucked hard (bartok)	96	FX 7
58	Struck (col leg)	97	FX 8
59	Higher	98	FX 9
60	Lower	99	FX 10
61	Harmonic	100	Up (rips/runs)
		101	Downs (falls/runs)
		102	Crescendo
		103	Decrescendo
		104	Arc
		105	Slides
		Various	
		110	Disco up (rips)
		111	Disco down (falls)
		112	Single string (Sul C/G/etc.)

本ライブラリのアーティキュレーションは、多くの特定のアーティキュレーションによって作成された、複雑なテクスチャーであるため、UACC#32の値は、最初のいくつかの番号(1から8)に優先的に割り当てられていますが、Short playable articulationsは例外で、上記の仕様で指定された通常の値に従います。

UACCキースイッチ

UACCキースイッチは、弊社製品およびアップデートの新機能です。ロック・パネル・メニューからUACCキースイッチをOnにすると、1つのキースイッチが使用可能になります。上記のUACC仕様を使用し、このキースイッチのベロシティでアーティキュレーションを切り替えます。

例えば、ベロシティ70でキースイッチを押すと「Trill (minor2nd)」アーティキュレーションに切り替わり、ベロシティ56で押すと「Plucked (pizz)」に切り替わります。UACC同様に、これらのベロシティ値を手動で入力することもできますが、DAWやタブレット・アプリの機能を使う方が簡単です。

UACC KSのUACCに対する主な利点は、キースイッチのノートをピアノロール上で重ねることでアーティキュレーションを重ねられることです。

FAQとトラブルシューティング

Q: Kontaktライブラリのオフライン認証 (オーサライズ)。

⚠ 現在すべてのKontaktライブラリは認証に際してネット接続を必要とします。特殊な環境でのご利用についてはNative Instruments社にお問い合わせください。

Q: ライブラリがKontaktのLibrariesペインから消えてしまう。

これはKontaktの既知のバグです。サポート・チームにご連絡ください。

Q: "no library found" エラー・メッセージ


新しいライブラリの追加時に、Kontaktで "No Library Found" というエラー・メッセージが表示される場合、購入した製品が "Player" ライブラリでないことが原因です。Kontakt左上のFilesブラウザ経由、またはKontaktウインドウ上にインストゥルメント・ファイルをドラッグして読み込んでください。

Q: KontaktとKontakt Playerの違い

別項参照。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題。

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- ドライブに空き容量がある場合、各ライブラリの2倍以上の容量を確保してください。これは、ライブラリのダウンロード用スペースと解凍後(つまり実用時)のスペースが必要となるためです。容量の大きなドライブのご利用を推奨します(インストール時に必要なサイズは、該当製品のウェブページに記載されています)。

その他、

- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ(またはそのサブフォルダの1つ)にさまざまなファイルが表示されます。
- "Download interrupted"(ダウンロードが中断されました)メッセージが表示される場合、IPの変更が原因である可能性があります。通常、VPNを使用している人や、ダウンロード中に国を跨いで移動した人がこのケースに当てはまります。サポート・チケットを取得し、ブロックを解除してもらってください。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: インストゥルメント・ファイルの紛失。

ライブラリを別の場所に移したり、アップデートに失敗したりすると、インストゥルメント・ファイルが失われることがあります。Spitfire Audio AppあるいはNative Accessで、該当するライブラリを再ダウンロードすることで問題が解消します。

Q: ダウンロード速度について。

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくと十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。外付けのドライブ経由でライブラリをコピーすることで、簡単に両方のマシンにライブラリ全体をインストールできます。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されない。

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！


Q: 製品のアップデート方法。

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から**Reset**を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または**Latest Update**を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない。

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します（ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります）。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送。

私たちのライブラリはすべて、PCとMacの両方で互換性があります（Kontaktの中で動作するため）。

PCまたはMacのどちらでダウンロードしても、もう一方のオペレーティング・システムに移行する必要がある場合は動作します。移行したいライブラリを外付けHDDにコピーしてから、もう一方のマシンにコピーすることをお勧めします。

Q: "samples missing"のエラー・メッセージ

ライブラリを移動したり、アップデートに失敗したりすると、サンプル・ファイルが失われる場合があります。また、必要な空き容量の不足したドライブにライブラリをインストールした場合にも、このエラーが表示されることがあります。このような場合、ライブラリを再ダウンロードすることで解消する場合がありますが、根本的な問題解決にあたっては前述の「Q:ダウンロード／インストールの問題」を参照してください。

Q: Mac OSX 10.9以前でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Applは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: DEMOモードで開くインストゥルメント。

[DEMO]ボタンが表示され、パッチがタイムアウトする場合は、Kontakt Playerソフトウェアで非対応ライブラリを実行しようとしていることを意味します。私たちのPlayerライブラリは、お客様に代わってライセンス料を支払っているため、フルバージョンのKontaktを必要としません。

ただし弊社のPlayerライブラリをお持ちの場合、Kontaktのフルバージョンの割引を受けることができますので、導入をご検討ください。

⚠ 本サービスは予告なく終了する場合があります。

Q: Batch Resaveについて。

これを行う理由は2つあります。1つ目は、パッチの読み込みを高速化すること、2つ目は、パッチを読み込むたびに探す必要がないように、足りないサンプルを見つけて情報の補正を行うことです。処理時にもしKontaktのクラッシュが起こるようであれば、処理負荷を軽減するためサブフォルダーごとに小分けに処理してください。

Q: コレクションの購入方法。

弊社のサイトでは、ユーザーが既にお持ちの製品を確認した上でチェックアウト時に金額を差し引きます。念のため、製品購入後の確認画面には必ず目を通してください。

Q: 商品のシリアル番号の紛失。

Eメールを紛失してしまい、過去のシリアル番号を探すのに苦労することがあります。Spitfire Audioのサイトにログインすると、ユーザーの保有製品のすべてのシリアル・ナンバーが表示されます。もしお探しのシリアル・ナンバーが見当たらない場合は、[サポート](#) (英語) までご連絡ください。

Q: バグを発見しました。

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡 (英語) ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト (ビデオ)、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: NCW圧縮フォーマットとは。

これはNative Instrumentの新しいロスレス圧縮サンプル・フォーマットで、サンプル・データ・プールを約55%削減することに成功しています。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて。

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません (使用許諾契約をご確認ください)。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました。

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?] (またはこれに該当する日本語表記) をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

Q: VEP - コントロール、GUIの表示

Vienna Ensemble Pro (VEP) のインスタンスをシーケンサーにconnect (接続) してMIDIを送る必要があります。VEPを実際に接続して起動することで、KontaktはGUIの描画を含むインストゥルメントのセットアップを完了します。



Spitfire Solo Strings 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc.
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

2024/OCT issue

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>